

企画総務グループ打合せ（平成 24 年度 第 6 回）議事録

- ・日 時：平成 25 年 3 月 8 日(金) 15：00～17：00
- ・場 所：J G S 会館 3 階小会議室
- ・出席者：菊地，高橋，坂上，青木(事務局)
- ・欠席者：竹山，金澤，阿部、野島、末政

1. 前回議事録の確認

- ・平成 24 年度第 5 回企画総務グループ幹事会議事録 (1/29) 【別紙－ 1】
- 確認した。10 周年事業（コンクールなど担当）について，要再確認。
- ・平成 24 年度第 5 回運営委員会議事録 (2/4) 【別紙－ 2】
- ・平成 24 年度第 2 回評議員会議事録 (3/4) 【別紙－ 3】
- 確認した。評議員の任期が 3 年であることは，支部規定に明記されているので，その部分の議事録を修正。

2. 最近のスケジュール

- ・第 6 回運営委員会：平成 25 年 3 月 21 日（木）
- ・平成 25 年度支部総会：平成 25 年 4 月 22 日（月）

3. 支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

- (1) H24 年度支部役員体制について
- (2) 「地盤工学会誌」平成 25 年度読者モニター推薦のお願い 【別紙－ 4】
- 川崎地質から 1 名，埼玉大学から 1 名，関東学院大学から 1 名（事務局から依頼）推薦をお願いすることになった。
- (3) 評議員の人事について（大学関係者以外） 【別紙－ 5】
- 確認した。留任・新任推薦の文書を修正（任期 3 年であることは支部規定に明記されているので，それを反映）。
- (4) 関東の地盤の執筆料支払いについて 【別紙－ 6】
- 運営委員会で審議。
- (5) 第 5 回マイクロジオデータ研究会のご案内 【別紙－ 7】
- メーリングリストで案内済み。
- (6) 「地盤工学会誌」支部編集委員について 【別紙－ 8】
- 来年度の企画総務グループの役割分担に依存するが，引き続き竹山幹事をお願いすることにした。
- (7) 来年度の浦安市相談会の件 【別紙－ 9】
- 確認した。関東支部としては，平成 25 年度までしか引き受けられない旨，併せて連絡する。
- (8) 平成 24 度「支部事業報告案・収支決算報告案」作成のお願い 【別紙－ 10】
- 支部事業報告案は高橋が，収支決算報告案は坂上副幹事長が担当する。
- (9) 特別会員・貢献賞の表彰および永年にわたる正会員への感謝状に関するお願い 【別紙－ 11】
- 永年にわたる正会員への感謝状を贈るのを支部総会に合わせて行うのは難しいので，日を改めて 5 月中～下旬（本部の総会前）に，特別講演会とあわせて表彰式を行うということが考えられる。会長も呼ぶ。特別講演会では，初代支部長の石原先生に話をしてもらうというのも一案。
- 特別会員の表彰も対象社数が多いので，簡略して表彰する方向で。

4. 開催結果，進捗状況の報告

- (1) 会員サービスグループ◆企画総務グループの幹事公募のお知らせ 【別紙-12】
→学生会員向けMLで流すことを確認した。
- (2) 特別会員級変更届け 【別紙-13】
→慰留願いを出した。
- (3) 日弁連主催シンポジウム (3/6) の関東支部会員への配信について 【別紙-14】
→メーリングリストで案内済み。岸田専務理事には，今後は正規ルートで依頼いただけるようお願い。
- (5) 国際講演会「地盤の評価と地震応答解析：インド事例紹介」 【別紙-15】
→参加者は18名。

5. その他

- (1) 退会・等級変更届
1級会員の東急建設(株)技術研究所様 (1級から4級へ変更)
- (2) 造成宅地の手引書の講習会について
→各県グループにお願いして，講習会を企画してもらえよう，運営委員会で依頼する。
- (3) 廃石膏ボードの報告書販売促進費について
→当初，完売するとの話だったが全く売れないので，日経コンストラクションなどに広告を出すための費用を出してもらいたい(来年度予算として確保したい)ということだが，まずは，シンポジウムや講習会などを開催して販売促進をすべきであり，安易にこのような申し出を認められない。運営委員会で審議。
- (4) 次回打合せ
→総会后，時期メンバーの都合も踏まえて後日決定する。